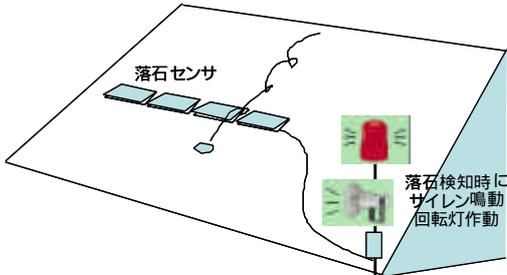
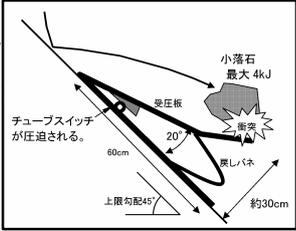


技術名称	計数型落石センサ
会社名	株式会社復建技術コンサルタント
技術・システムイメージ (商品写真など)	<p data-bbox="587 347 1305 465">常時監視手法の普及には低コストのセンサが必要です。そこで、落石・岩盤崩壊の前兆現象として生じる小落石を検出するセンサを開発しました。</p>   <p data-bbox="624 763 791 790">落石センサ写真</p> <p data-bbox="1066 763 1334 790">落石警報装置の基本構成</p>
技術の概要説明	<p data-bbox="475 824 1150 887">「計数型落石センサ」は「チューブスイッチ」を「受圧板」で挟み込む構造です。</p> <p data-bbox="475 891 1198 1025">受圧板は斜面勾配と直交方向に並べ、落石を待ち受けます。受圧板に落石が衝突すると、チューブスイッチが圧迫されてチューブ内の導線が接触し、電気の導通が生じて検知信号を送出します。</p> <p data-bbox="475 1030 1134 1059">センサが破壊されなければ、繰り返し検知が可能です。</p> <p data-bbox="475 1064 1174 1167">検知信号で回転灯・サイレンなどの起動が可能です。検知対象は小落石です。(目安：高さ 20m から 20kg の石を落下させた程度。)</p> 
技術の特徴(PRする点)	<p data-bbox="475 1223 1294 1323">計器設置は簡単なので、ユーザー自身で設置作業が可能です。センサは単なるスイッチなので、センサ自体の動作電源は不要です。センサは単純な構造のため、故障が少ない利点があります。</p>
用途	<p data-bbox="475 1357 1469 1417">工事現場における安全管理。 (将来的な可能性として、急傾斜地崩壊危険箇所への適用、道路斜面災害への適用)</p>
コスト	<p data-bbox="475 1451 1166 1626">イニシャルコスト：約 300 万円 (センサ設置延長 50m および警報装置) 販売のみ ランニングコスト：年間 30 万円程度 (毎月の定期点検費や修理費) 従来技術(光ファイバ式など)と比較して 50～70%のコスト</p>
担当窓口連絡先	<p data-bbox="448 1659 1094 1760">株式会社復建技術コンサルタント 調査防災部 山下 電話：022-217-2030 FAX：022-217-2038 E-mail：info@sendai.fgc.co.jp</p>
その他	<p data-bbox="448 1794 1094 1823">会社サイト http://www.fgc.jp/saishin/15.shtml</p>